

行政評価シート(事後評価)

コード 4-2-4	事務事業名 保養施設補助事業	所管部課 市民部健康年金課
--------------	-------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	契約保養施設を被保険者の利用に供することにより、被保険者の健康の保持増進を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	66施設(平成19年度)と契約を結び、宿泊しようとする被保険者が事前に利用券の申請交付を受け宿泊時に契約施設に提出することで1泊大人3,000円(13歳未満2,000円)の助成をする。J助成上限は、1回の助成につき3泊まで、年間3回までとなっている。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			2,057	1,955	1,794
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他()					
	一般財源		2,057	1,955	1,794	2,189
所要人員(B)	人		0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		819	816	816	816
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		2,876	2,771	2,610	3,005
単位当たりコスト						
(E)=(D)/(交付件数)	千円		6	6	6	4

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	市報PR回数	実績値	回	1	1	1	1
交付件数	実績値	件	498	448	416	675	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 市報で利用をPRした回数 助成制度の利用券交付件数							
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 全被保険者に対する次利用率	目標値	%				1.194
		実績値	%	0.700	0.628	0.591	
二 健康回復・医療費の次抑制	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)保養施設を被保険者が利用した割合(被保険者数:平成17年度71,162人・平成18年度71,293人・平成19年度70,436人・平成20年度56,548人) 平成20年度は長寿医療制度に移行後の国保被保険者見込み人数							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成19年度国民健康保険運営協議会において事業継続が承認された。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	東久留米市: 大人2,000円(子供1,000円)・年間1泊、小平市: 大人2,000円(子供1,000円)・年間2泊、東村山市大人3,000円(子供1,500円)・年間2泊、清瀬市大人2,000円(子供1,000円)・年間2泊、武蔵野市大人3,000円・年間4泊
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	平成20年度に契約している65施設の平均料金はおよそ10,000円であり、平均的な負担額7,000円程度でも宿泊できる施設はある。

コード 4-2-4	事務事業名 保養施設補助事業	所管部課 市民部健康年金課
--------------	-------------------	------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>現在最高で3泊×3回の利用で年間計9泊分の助成は近隣市の状況と比較すると高い水準にあり見直す必要がある。また、利用率は低い水準にあり利用率の向上を図る必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>一次評価で指摘しているとおり、利用者が減少傾向にある。助成水準や運営方法を見直すとともに、健康増進に向けた代替措置などを含めて改善を図られたい。</p>
事業の必要性	1			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>保養施設補助事業は、被保険者の健康増進を図る事業の一つである。しかしながら、現状では利用者が減少傾向にあることから、助成水準や運営方法について見直しが必要である。</p>